

「むかしばなしをよもう」

実施 平成24年1月～2月

対象 1年うめ組児童(31名)

授業者 宮寄 佐智子

1. 単元の目標

- 内容知：・日本や世界の国々には、昔からその地に伝えられてきたお話があることを知る。
- 方法知：・昔話を楽しむために、語のまとまりや言葉の響き、昔話特有の語り口調や言い回しなどに気をつけて音読する。
 - ・好きなお話を友達にわかりやすく伝えるために、話形に気をつけて話す。
- 自分知：・友達が紹介した本や本のおすすめカードの中から、興味のある本を見つけて読もうとする。
 - ・日本や世界の国々の昔話の楽しさやおもしろさを味わい、読書に親しむ心情を育む。

2. 単元について

(1)教科の視点から

新学習指導要領(平成20年度版)には、新たに「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が設けられた。それに伴って、1年生の教科書には昔話を取り上げられている。昔話は、児童が教科書で初めて出会う古典であるが、多くの児童はこれまでの生活の中で読み聞かせを聞いたり、絵本やテレビなどで目にしたりして、昔話に触れ合う機会をもっている。本単元では、昔話が昔から人々によってその地に伝えられてきたものであることをおさえない。そして、声に出して音読することによって、昔話特有の語り口調や言い回しに親しみを感じられるようにする。

また、発展として、児童がこれまで読んできた昔話や、教科書教材をきっかけに新しく読んだ昔話の中からお薦めの一冊を選んで紹介し合う活動を設ける。児童は、自分が知っている昔話の他にも様々な昔話があることを知るだろう。そこで興味を持った本を手にとる機会をつくり、楽しんで読書しようとする心情を育みたい。

(2)研究との関連から

①グローバルな視野を育む

昔話は、日本に限らず世界各国に語り継がれている。本単元では、日本の昔話を取り上げた後に意図的に世界の昔話に目を向けることで、世界の国々にも日本と同じようにその地に語り継がれているお話があることを知り、お話のもつおもしろさを味わわせたいと考える。そうすることによって、世界には、日本と同じようにその地特有の文化や生活が営まれており、そこに生きる人々がいるという、グローバルな視野と感性の素地を育みたい。

②コミュニケーション力を育む

教室で仲間と共に学び合い高め合う上でコミュニケーション力は必要不可欠である。また、自分の思いや考えを伝え、友達の考えを知り、よりよいものやよりよいあり方を仲間と共に探る中で、思考力や判断力、表現力は磨かれる。また、共に学び、共に生きる仲間とのよりよい人間関係も培われるだろう。

本単元においては、教科書教材からの発展として、自分のお薦めの一冊について友達と語り合うことを通して、自分の思いや考えを伝える力、友達の思いや考えを聞いて受けとめる力を育てる。語り合いでは、お薦めの1冊を紹介する児童は、予め用意したものを読んで発表をする形式をとるのではなく、話型を元にして思いや考えを語る。それに対して聞き手が質問することで紹介の内容がより充実するようにしたい。そうすることで、発言者と聞き手の間に生きたコミュニケーションが生まれると考える。

3. 学習の実際 (全13時間)

学習の流れと児童の主な活動	◇手だて ◆見取り
<p style="text-align: center;">第1次「天にのぼったおけやさん」をよもう (4時間)</p> <p>第1時 ○天にのぼったおけやさんを読み、感想を書く。</p> <p>第2時 ○難しい言葉の意味を知る。 ○おもしろいと思う言葉や言い回しを見つけて、発表し合う。 ・たまりません ・あれよあれよ ・うつらうつら ・こりゃ、まて ・なんじゃい ・なにをしとるか ・そんなら ・よっちらおっちら ・ほうれ ・あるでなあ ・おるが ・よかろうか ・どうじゃろう 等</p> <p>第3, 4時○好きな場面やおもしろいと思う場面を選んで音読し、紹介し合う。</p> <p style="text-align: center;">第2次 日本のむかしばなしをよもう (4時間)</p> <p>第5～7時</p> <p style="text-align: center;">すきなむかしばなしを しょうかいしよう。</p> <p>○自分が読んだ日本の昔話の中から好きな1冊を選び、好きな理由を話型に合わせて紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>ぼくの好きなお話は、「わらしべ長者」です。 このお話には、わらしべ長者が出てきます。 どうしてこのお話が好きなのかというと、最初は貧乏だったのに、わらを何かと替えていって、最後にはお金持ちになったところがおもしろかったからです。 質問や感想はありますか。</p> <p style="text-align: right;">※ゴシック体は、提示した話型。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>この部分は 公開に適さないため 掲載できません。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>わらしべ長者は、例えば、何を何に替えたんですか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>最後にお金持ちになっていいなあ、と思いました。</p> </div> <p>○友達の本の紹介に対して、質問や感想を伝える。 ○学習感想を書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【学習感想 (抜粋)】</p> <p>◆わたしがしているおはなしもあったけど、しらないおはなしもあっておもしろかったです。むかしばなしは、すごいいっぱいあることがわかったので、これからもういっぱいむかしばなしをよみたいです。</p> <p>◆わたしはいままでのなかでかちかち山がよみたくになりました。なぜなら、おばあさんがしんだときはかなしかったけど、うさぎがおばあさんのためにやるのはえらいとおもったからです。</p> <p>◆はじめのときはじしんがなくてはっぴょうできなかったけど、きょうはじしんをもってできました。これからもこういうしょうかいがあったら、手をあげてはっぴょうしたいです。</p> </div>	<p>◇話のおもしろさを味わうことができるように、難意語の意味について確認したり、おもしろいと思う言葉を出し合ったりした。</p> <p>◆好きな場面を音読することで、登場人物になりきり、昔話特有の言葉の響きやおもしろさを味わった。</p> <p>◇5日間の休みの間に、日本の昔話を読むことを宿題とした。</p> <p>◇自分が読んだ昔話の中から好きな話を選び、好きな理由を考えさせた。</p> <p>◇話す際の話型を提示し、自信をもって紹介できるようにした。</p> <p>◇話の題名と好きな理由について簡潔に板書し、自分が読んだ話と見比べながら紹介を聞くことができるようにした。また、最後に掲示して、今後その本を読むきっかけになるようにした。</p> <p>◆日本には、たくさんの昔話があることを知り、昔話に興味を持つことができた。</p> <p>◆発表に対して意欲をもったり自信をつけたりした。</p>

教科部会

第8時

- 紹介した本を持ち寄って、日本の昔話を読む。
- ・図書室に日本の昔話のコーナーをつくり、興味をもった昔話を読む。

◇図書館司書の協力も得て、興味をもった本を読む機会をつくった。

この部分は
公開に適さないため
掲載できません。

この部分は
公開に適さないため
掲載できません。

この部分は
公開に適さないため
掲載できません。

第3次 せかいのむかしばなしをしょうかいしよう (5時間)

第9～13時

- 自分の読んだ世界の昔話の中から、好きな話を一つ選ぶ。
- 自分が選んだ話がどの国の話なのかを発表し、どの国の話なのか、世界地図で確認する。

この部分は
公開に適さないため
掲載できません。

◇冬休みの間に、世界の昔話を読むことを宿題とした。

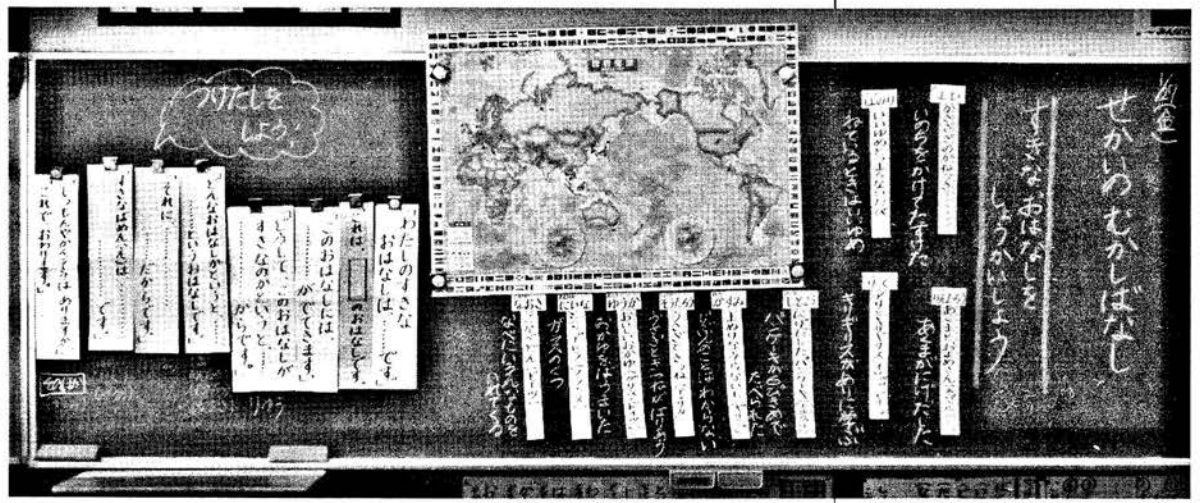
◇世界地図を提示して児童が紹介する話がどの国のものなのかわかるように赤いシールを付け、様々な国に昔話があることを示し、どんなお話なのか聞きたくなるような雰囲気づくりをした。

りゆうにつけたしをして、すきなおはなしをしょうかいしよう。

- 日本の昔話と同じようにその話が好きな理由を話し、さらに付け足しの話をつけ加えて紹介する。
- 友達の紹介に対して、質問や感想を伝える。
- 学習感想を書く。

◇付け足しの話の例を提示し、詳しく紹介ができるようにした。

◇一人の紹介が終わるごとに、世界地図に青いシールを付けて国と、付け足しの話が何であったかを確認した。



ぼくの好きなお話は、「とらのじまり」というおはなしです。
 これは、カンボジアのお話です。このお話には、王様と家来が出てきます。
 どうしてこのお話が好きなかという点、王様たちがジャングルで迷って歩き回っ
 ていたら、最後は虎になってしまった、というところがおもしろかったからです。
 好きな場面は、王様たちが虎になってしまう場面です。
 質問や感想はありますか。

※ゴシック体は、提示した話型。

声が大きくて、ききやすかつ
 たです。

王様や家来が虎になっちゃって、少しこわい
 な、と思いました。

カンボジアのお話でした！

付けたしは、好きな場面でした！

この部分は
 公開に適さないため
 掲載できません。

◇図書館司書の協力を得て、教室
 に世界の昔話の本のコーナー
 をつくり、常時、手にとって読
 めるようにした。

【学習感想（抜粋）】

- ◆きいたことのあるおはなしもあるしきいたことのないおはなしもありました。日本以外の国にも、むかしからつたわるおはなしがたくさんあることがわかりました。これからはいろいろなおはなしをたくさんよんでみたいとおもいました。
- ◆きょう、せかいちずを見て、「まだ赤いところが3つあるな」とおもいました。わたしは、とてもわくわくどきどきしています。これからみんなでのしいおはなしをしょうかいしあってのしくすごしていきたいです。
- ◆きょうのはっぴょうは、まだあまりでてきてなかったくにおはなしがたくさんでてきて、この3かいの中でいちばんおもしろいはっぴょうになってすごくよかったです。それに、△△ちゃんはいつもあまり手をあげないのがんばってはつきりとしょうかいできたので、すごくよかったです。こんどもたのしみです。
- ◆きょうはみんなしょうずにできてよかったとおもいました。わたしはいつもやっていないので、こんどこそがんばってやってみたくです。さいしょはちょっとこわかったけど、みんなはっぴょうしてくれてきぶんがよくなりました。こんどは、みんなにわたしのおはなしをおしえて、しつもんもして、いつも学校をがんばりたいです。
- ◆きょういんしょうにのこった子は、☆☆ちゃんです。どういうところがいんしょうにのこったかという点、日本のむかしのおはなしのときにはっぴょうしていないのに、大きなこえでききやすかったからです。それに、☆☆ちゃんは、2こもつけたしをしていてびっくりしました。どうしてこのおはなしが好きなかという点、のところも、おはなしに入ったきぶんといっていていいとおもいました。こんどやるときは、みんながちょうせんでできるとおもいます。

4. 考 察

【成果】

グローバルな視野と感性の素地を育むことを中心に考察する。

本単元を通して、児童は日本にもたくさんの昔話があるが、世界の様々な国にも昔から伝えられている話があることを知った。その際に、世界の国々にシールが貼られた世界地図は児童にとって視覚的に捉えやすく、有効に機能した。また、1年生の発達段階から、児童はお話が伝わる国にはとらわれずに、それぞれの話のもつおもしろさを感じ取っていた。それは、本単元で昔話という素材を通して日本から世界に目を向けることで、児童は世界にはたくさんの国があり、どの国にも日本と同じようにそこに生きる人々がいて、そこに伝えられてきた話がある、ということを感じて受け止め、感じる事ができた。

また、好きなお話を紹介し合うことで、紹介された話載っている本や、自分がまだ読んでいない昔話の本を手にとって読む姿も多く見られた。これは、図書館司書の協力により、約1ヶ月にわたって日本と世界の昔話を100冊ほど教室に常設できたことが大きな要因であったと考える。

他にも、話すこと・聞くことにおいて、日本の昔話と世界の昔話と2段階の紹介をしたことで、話し方の順序がわかったこと、話す内容が増えたこと、話すことに自信が付き話す意欲が増した点、などが成果として上げられる。同時に、児童にとって興味のある題材であったため、話を聞きとることも楽しみながら積極的にすることができた。

【課題】

本単元は、教科書教材を読むことをきっかけに、日本や世界の昔話の読書と本の紹介に発展させた単元構成であった。そのため、昔話特有の言葉や言い回しを音読する楽しさを味わわせることについては、十分ではなかった。